

## 第 19 回通常総会報告

### 2003 年度事業報告

#### 概要

2002 年度に開始された学会設立 15 周年を記念する人工知能学事典と「知」の科学技術のフロンティアを紹介するシリーズ本「知の科学」の編集作業が最終段階に入り、ともに 2004 年秋に出版される運びとなった。また、同年に企画された現行の論文査読制度では扱えないような新しいタイプの論文を推奨し、受け付ける「AI フロンティア論文」制度に基づく最初の論文が学会誌 Vol.19, No.2 に掲載された。さらに、「セマンティックウェブとオントロジー」研究会のメンバーが中心となって第 3 回セマンティックウェブ国際会議 (ISWC2004) の組織委員会を立ち上げ、本格的な準備活動を開始した。このように、学会活性化のために提案された新規事業や企画が次々に具体的な成果を出し始めた。

会員数の推移は、景気回復の兆しが見られるものの、正会員、学生会員、賛助会員、特殊購読会員のすべてで減少が続いている。このような状況下、各委員会で新しい活性化の諸施策が企画・実施された結果、全国大会や研究会では発表者が、AI シンポジウムやセミナーでは参加者が大幅に増加するなど、明るい面も見え始めた。

隔月発行の「人工知能学会誌」は、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとにホットなテーマの解説論文や新たな企画で内容の充実が図られた。

なお、論文は科学技術振興事業団の J-STAGE システムに、採録決定後直ちに掲載するとともに、本年度も 1 年分の論文 37 編をまとめた人工知能学会論文誌 Vol.18, 2003 を発行した。

第 17 回全国大会は 6 月 25 日から 3 日間にわたり新潟市の朱鷺メッセで開催された。一般発表に 254 件(口頭発表: 149 件, デジタルポスタ発表: 22 件) の応募があり、参加者も 457 名に達し、盛況であった。

8 研究会は、それぞれの研究会活動のほか、他学会の研究会との合同研究会や全国大会でのオーガナイズドセッションを開催するなど活発な活動を行った。

人工知能セミナーは「心が通じるインタフェースの実現を目指して」と「複雑系と経済分析」というテーマで 2 回開催され、前者の参加者が 82 名、後者が 78 名と好評であった。

活性化活動の一環として開始された AI 若手の集い (MYCOM) は本年度で 4 回目を迎え定例行事として定着した。

2003 年度の表彰では、業績賞 2 件、論文賞 2 件、研究会優秀賞 9 件、全国大会優秀賞 5 件が選定された。

国際研究交流活動の一環として、第 4 回対話と談話に関する SIGdial ワークショップと第 7 回ロボカップ世界大会に向けたロボカップ・ジャパンオープン 2003 を朱鷺メッセで共同開催した。その他、国内外の人工知能関連の催し物を積極的に共催 (2 件)・協賛 (60 件)・後援 (3 件) し、他学会との協調による学会活動の活性化と多様化を推進した。

広報活動の一環として、ホームページの充実に注力すると同時に、非会員のメーリングリストへの登録を推進するなど、会員外の方々へのサービスの充実にも努力した。

#### 会員現況 (2004 年 3 月 31 日)

	本年度末 (平成 16 年 3 月 31 日)	前年度末 (平成 15 年 3 月 31 日)	増減数
正 会 員	2,763 名	2,789 名	26 減
学生会員	456 名	493 名	37 減
名誉会員	6 名	6 名	0
賛助会員	47 社	49 社	2 減
特殊購読会員	92 団体	97 団体	5 減

#### 人工知能学事典と「知の科学」シリーズの出版

2002 年度に設立された下記の委員会で事典とシリーズ本の編集が進められてきましたが、2004 年秋に出版の運びとなった。

##### 人工知能学事典編集委員会

委員長 田中穂積  
副委員長 石塚 満 (東大), 溝口理一郎 (阪大)  
幹 事 沼尾正行 (阪大), 武田英明 (NII), 萩田紀博 (ATR), 丸山文宏 (富士通), 島津秀雄 (NEC)  
顧 問 堂下修司

##### 「知の科学」シリーズ出版委員会

委員長 石塚 満 (東大)  
委 員 奥乃 博 (京大), 折原良平 (東芝), 武田英明 (NII), 沼尾雅之 (IBM), 堀 浩一 (東大), 松原 仁 (はこだて未来大)  
顧 問 大須賀節雄

#### 国際会議の開催

##### 第 4 回対話と談話に関する SIGdial 国際ワークショップ (SIGDIAL2003)

- ・共 催: SIGdial Workshop 組織委員会, 人工知能学会 SLUD 研究会
- ・日 時: 2003 年 7 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)
- ・場 所: 札幌市産業振興センター
- ・組織委員会: General Chair 樽松 明 (電通大), Program Co-chair 土屋 俊 (千葉大)
- ・構 成: 発表論文: 28 件  
基調講演: Prof. David Traum (University of Southern California)  
パネル討論: Prof. Alex Rudnický (Carnegie Mellon University)
- ・参加者: 84 名 (海外 26 名, 国内 58 名)

##### 全国大会併設国際ワークショップ

- ・主 催: 人工知能学会
- ・日 時: 2003 年 6 月 23 日 (月) ~ 24 日 (火)
- ・場 所: 朱鷺メッセ (新潟市万代島 6-1)
- ・テーマ: Agent-Based Modeling (23 日), From Semantic Web to Semantic World (24 日)

・参加者：27名（SARS 流行のため国内ワークショップに変更）

規程などの制定・改正・廃止，契約締結，覚書交換および登記など

下記のどおり規程の改正および役員登記を行った．  
・公印管理に関する規程 / 2003 年 5 月 30 日を制定  
・情報公開に関する規程 / 2003 年 5 月 30 日を制定  
・研究会運営細則 / 2004 年 2 月 27 日改正  
・社団法人 人工知能学会・新役員登記 / 2003 年 8 月 6 日 登記

## 2004 年度事業計画（案）

運営・活動方針

定款の目的に沿って，会誌の隔月発行・論文のオンラインジャーナル掲載，全国大会（第 18 回），研究会，AI シンポジウム，セミナー，ワークショップ，若手の集いなどの研究活動の推進，功績賞・功労賞・論文賞・研究会優秀賞・全国大会優秀賞などの表彰，ならびに他学会および海外関連団体との協調による学会活動の活性化や多様化を推進するとともに，引き続き組織基盤の強化・拡充に努めて会員サービスの充実を図る．

この秋には待望の人工知能学事典と「知の科学」シリーズの第 1 弾 3 冊を出版する．

会誌は，引き続き本年度も魅力ある雑誌作りを目指して，タイムリーなテーマの特集記事や解説などで内容の充実を図る．論文誌は，論文特集を積極的に企画し投稿論文の増加を図ると同時に査読の高速化に注力して差別化をはかる．採録された論文は直ちに科学技術振興事業団の J-STAGE システムに掲載し，一般に

公開する．なお，2004 年度も 1 年分の論文をまとめた人工知能学会論文誌 Vol.19, 2004 を発行する．

全国大会は地方開催が好評なため，2004 年度は 6 月 2 日（水）から 6 月 4 日（金）の 3 日間，併設の国際ワークショップを 5 月 31 日（月）と 6 月 1 日（火）の 2 日間，金沢市の石川厚生年金会館で開催する．

第 3 回セマンティックウェブ国際会議（ISWC2004）を 11 月に広島で共催し，国際活動を推進する．

研究会は，各研究会が扱う研究テーマの見直しが行われ，「人工知能基礎論研究会」が「人工知能基本問題研究会」に，「知的教育システム研究会」が「先進的学習科学と工学研究会」と名称を変更して新たな気持ちで活動することになった．また，ホットなテーマをタイムリーに選んで実施する AI シンポジウムは本年度も「データマイニング」をテーマにして開催する．

学会の活性化活動の一環として開始された AI 若手の集い（MYCOM）は定例行事として第 5 回を開催する．

人工知能セミナーは，ホットなテーマを選んで 2 回開催する．

ホームページとメーリングリストを介した広報活動に注力する．

2006 年度に学会創立 20 周年を迎えるので，その記念事業を企画する委員会を設置し，準備を開始する．

規程など制定・改正・廃止，契約締結，覚書交換および認可など

・各種積立金の規程（2004/05）  
・社団法人 人工知能学会・新役員登記（2004/07）

(社)人工知能学会2003年度決算報告書

収 支 計 算 書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

科 目	予算額	決算額	差異	備考
1 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	21,000	21,000	0	
2 入会金収入				
正会員入会金	200,000	242,000	42,000	
学生会員入会金	100,000	117,000	17,000	
3 会費収入				
正会員会費	27,000,000	27,630,000	630,000	
学生会員会費	1,960,000	1,824,000	△ 136,000	
賛助会員会費	9,600,000	9,840,000	240,000	
特殊購読会員年会費	1,500,000	1,380,000	△ 120,000	
4 事業収入				
会誌別刷料	13,560,000	11,975,000	△ 1,585,000	
会誌印税	797,160	797,160	0	
全国大会収入	7,421,700	5,421,300	△ 2,000,400	
全国大会収入(国際WS)	1,025,000	137,000	△ 888,000	
セミナー・MYCOM参加費	1,224,000	1,437,500	213,500	
会誌など頒布代	300,000	473,700	173,700	
研究会登録料他	2,885,000	2,572,199	△ 312,801	
AIシンポジウム参加費	4,110,000	2,749,000	△ 1,361,000	
JICST許諾料	180,000	175,980	△ 4,020	
コンテンツ販売収入	1,100,000	0	△ 1,100,000	
5 補助金収入				
自治体補助金(全国大会)	0	494,401	494,401	
6 雑収入				
会誌広告料	1,001,500	1,080,750	79,250	
会誌掲載料	360,000	225,000	△ 135,000	
郵送料他	10,500	14,000	3,500	
受取利息	16,000	1,530	△ 14,470	
コピーライ	172,000	189,882	17,882	
論文集頒布代	0	67,340	67,340	
7 特定預金取崩収入				
活性化積立金	5,625,243	1,966,630	△ 3,658,613	
国際活動積立金	0	200,000	200,000	
当期収入合計(A)	80,169,103	71,032,372	△ 9,136,731	
前期繰越収支差額	18,266,622	18,266,622	0	
※ (23,608,206)				
収入合計(B)	98,435,725	89,298,994	△ 9,136,731	
※ (122,043,931)				

※ ( )内は、当初予算を示す。この中には入居保証金 4,344,000円、電話架設料 220,584円、担保金777,000円、合計5,341,584円を含んでいたが、本来固定資産と見なすべきものなので、当期より繰越金から外すこととした。

科 目	予算額	決算額	差異	備考
II 1 事業費				
会誌印刷費	12,427,500	13,777,198	1,349,698	
会誌別刷印刷費	1,220,000	1,335,578	115,578	
スタイル作り作成費	500,000	0	△ 500,000	
会誌執筆料	390,000	436,500	46,500	
会誌郵送費等発行諸経費	3,575,410	3,031,480	△ 543,930	
全国大会開催費	7,504,400	5,415,156	△ 2,089,244	
全国大会開催費(国際WS)	942,300	357,100	△ 585,200	
セミナー・MYCOM開催費	1,212,986	1,250,573	37,587	
研究会開催費	2,986,100	2,713,267	△ 272,833	
AIシンポジウム開催費	2,950,500	1,752,206	△ 1,198,294	
広報活動費	1,005,000	300,000	△ 705,000	
表彰費	250,000	104,676	△ 145,324	
国際会議支出(PRICA)	0	200,000	200,000	
コンテンツ作成費	1,700,000	0	△ 1,700,000	
活性化活動費	5,625,243	1,966,630	△ 3,658,613	
2 管理費				
家賃	2,213,568	2,213,568	0	
共益費	369,000	368,928	△ 72	
光熱費	230,000	198,040	△ 31,960	
リース料・保守・修理費	1,084,302	1,065,613	△ 18,689	
什器備品費	100,000	54,300	△ 45,700	
会議費	400,000	346,448	△ 53,552	
旅費交通費	120,000	80,420	△ 39,580	
通信・郵送費	2,395,000	1,909,716	△ 485,284	
印刷費	650,000	496,378	△ 153,622	
消耗品費	650,000	445,457	△ 204,543	
給料・手当	20,200,000	19,879,073	△ 320,927	
臨時雇費用	1,800,000	1,147,225	△ 652,775	
法定福利費	2,700,000	2,606,451	△ 93,549	
資料購入費	140,000	127,702	△ 12,298	
研修費	100,000	101,570	1,570	
諸会費	167,500	165,400	△ 2,100	
OA維持費	350,000	323,058	△ 26,942	
福利厚生費	45,000	33,868	△ 11,132	
会費引落経費	320,000	307,335	△ 12,665	
支払い手数料	80,000	84,170	4,170	
雑費	109,000	93,732	△ 15,268	
外為手数料	0	7,000	7,000	
公認会計士費用	157,500	157,500	0	
3 その他の支出				
会費等未納除却損	2,000,000	2,014,000	14,000	
4 特定預金支出				
国際会議積立	0	128	128	
退職金引当金	1,210,058	1,210,091	33	
会費未納除却引当金	0	413	413	
事務所整備積立金	0	51	51	
記念事業準備金	0	267	267	
名簿発行準備金	0	8	8	
活性化積立金	0	92	92	
国際活動積立金	0	80	80	
普及啓蒙活動積立金	0	39	39	
当期支出合計(C)	79,780,367	68,078,485	△ 11,701,882	
当期収支差額(A)-(C)	388,736	2,953,887	2,565,151	
次期繰越収支差額(B)-(C)	18,655,358	21,220,509	2,565,151	
※ (23,996,942)				

正味財産増減計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

科 目	金 額	
増加原因の部		
1 基本財産運用収入		
基本財産利	21,000	21,000
2 入会金収入		
正会員入会	242,000	
学生会員入	117,000	359,000
3 会費収入		
正会員会費	27,630,000	
学生会員会	1,824,000	
賛助会員会	9,840,000	
特殊購読会	1,380,000	40,674,000
4 事業収入		
会誌別刷料	11,975,000	
会誌印税	797,160	
全国大会収	5,421,300	
全国大会収	137,000	
セミナー・MYC	1,437,500	
会誌など頒	473,700	
研究会登録	2,572,199	
AIシンポジ	2,749,000	
JICST許諾	175,980	
コンテンツ	0	25,738,839
5 補助金収入		
自治体補助	494,401	494,401
6 雑収入		
会誌広告料	1,080,750	
会誌掲載料	225,000	
郵送料他	14,000	
受取利息	1,530	
コピーライ	189,882	
論文集頒布	67,340	1,578,502
合 計		68,865,742

科 目	金 額	
減少原因の部		
1 事業費		
会誌印刷費	13,777,198	
会誌別刷印	1,335,578	
スタイル作り	0	
会誌執筆料	436,500	
会誌郵送費	3,031,480	
全国大会開	5,415,156	
全国大会開	357,100	
セミナー・MYCO	1,250,573	
研究会開催	2,713,267	
AIシンポジ	1,752,206	
広報活動費	300,000	
表彰費	104,676	30,473,734
2 管理費		
家賃	2,213,568	
共益費	368,928	
光熱費	198,040	
リース料・	1,065,613	
什器備品費	54,300	
会議費	346,448	
旅費交通費	80,420	
通信・郵送	1,909,716	
印刷費	496,378	
消耗品費	445,457	
給料・手当	19,879,073	
臨時雇費用	1,147,225	
法定福利費	2,606,451	
資料購入費	127,702	
研修費	101,570	
諸会費	165,400	
OA維持費	323,058	
福利厚生費	33,868	
会費引落経	307,335	
支払い手数	84,170	
雑費	93,732	
外為手数料	7,000	
公認会計士	157,500	32,212,952
3 会費未納除却損		2,014,000
4 特定預金支出		
国際会議積	128	
退職金引当	1,210,091	
会費未納除	413	
事務所整備	51	
記念事業準	267	
名簿発行準	8	
活性化積立	92	
国際活動積	80	
普及啓蒙活	39	1,211,169
合 計		65,911,855
当期正味財産増加額		2,953,887
前期繰越正味財産額		58,608,206
期末正味財産合計額		61,562,093

貸借対照表  
平成16年3月31日

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金	661,267	
預貯金	26,950,281	
未収金	5,937,021	
前払金	450,380	
流動資産合計		33,998,949
2 固定資産		
基本財産		
定期預金	35,000,000	
その他の固定資産		
入居保証金	4,344,000	
電話加入権	220,584	
担保金	777,000	
定期預金等	53,913,374	
その他の固定資産合計	59,254,958	
固定資産合計		94,254,958
資 産 合 計		128,253,907
負債の部		
1 流動負債		
未払金	1,134,575	
前受金	11,153,000	
預り金	213,065	
仮受金	277,800	
流動負債合計		12,778,440
2 固定負債		
国際会議積立金	14,035,307	
退職金引当金	4,655,894	
会費未納分除却引当金	2,893,851	
事務所整備積立金	1,407,590	
記念事業引当金	8,019,588	
名簿発行準備金	806,773	
活性化積立金	8,282,087	
国際活動積立金	9,810,666	
普及啓蒙活動積立金	4,001,618	
固定負債合計		53,913,374
負 債 合 計		66,691,814
正味財産の部		
正味財産		61,562,093
(うち基本金)		(35,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(2,953,887)
負債及び正味財産合計		128,253,907

財産目録  
平成16年3月31日

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	現金手許有高	661,267
普通預金	みずほ銀行飯田橋支店	5,242,722
	みずほ銀行飯田橋支店	1,977,799
	東京三菱銀行神楽坂支店	1,716,073
総合前金	郵便局	422,018
振替前金	郵便局	11,176,669
	郵便局	6,415,000
未収金	2003年度入会金	38,000
	2003年度会費	2,400,000
	2003年度会誌別刷	2,034,000
	2003年度会誌印税	265,720
	2003年度会誌広告料	350,000
	2003年度研究会登録料	136,000
	2003年度研究会別刷資料他	72,000
	2003年度自治体補助金(全国大会)	494,401
	2003年度会誌等の頒布代	146,900
前払金	全国大会	374,149
	自引き手数料	14,331
	諸会費	61,900
流動資産合計		33,998,949
2 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金	みずほ銀行飯田橋支店	35,000,000
(2) その他の固定資産		
	入居保証金	4,344,000
	電話架設料	220,584
	郵便物受取人払い担保金	777,000
	みずほ銀行飯田橋支店	9,810,666
	三井住友銀行飯田橋支店	13,035,307
	東京三菱銀行神楽坂支店	1,204,241
	東京三菱銀行神楽坂支店	860,274
	東京三菱銀行神楽坂支店	4,655,894
	東京三菱銀行神楽坂支店	806,773
	東京三菱銀行神楽坂支店	7,002,058
	東京三菱銀行神楽坂支店	8,282,087
	東京三菱銀行神楽坂支店	4,001,618
	東京三菱銀行神楽坂支店	1,000,000
	東京三菱銀行神楽坂支店	2,033,577
	東京三菱銀行神楽坂支店	203,349
	東京三菱銀行神楽坂支店	1,017,530
その他の固定資産合計		59,254,958
固定資産合計		94,254,958
資 産 合 計		128,253,907
負債の部		
1 流動負債		
未払金	会誌別刷り印刷費	263,990
	研究会・AIJのｼﾞｬﾙ開催費	271,425
	法定福利費	137,961
	印刷費	94,978
	通信費	235,010
	消耗品費他	68,211
	臨時雇用費	63,000
前受金	2004年度入会金	35,000
	2004年度会費	9,784,000
	研究会登録料	804,000
	全国大会	384,000
	会誌別刷	146,000
預り金	職員に対する社会保険料	213,065
仮受金	誤入金・過入金等	277,800
流動負債合計		12,778,440
2 固定負債		
	国際会議積立金	14,035,307
	退職金引当金	4,655,894
	会費未納分除却引当金	2,893,851
	事務所整備積立金	1,407,590
	記念事業引当金	8,019,588
	名簿発行準備金	806,773
	活性化積立金	8,282,087
	国際活動積立金	9,810,666
	普及啓蒙活動積立金	4,001,618
固定負債合計		53,913,374
負 債 合 計		66,691,814
正 味 財 産		61,562,093

収支予算書(案)

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	17,547	21,000	△ 3,453	
2 入会金収入				
正会員入会金	200,000	200,000	0	
学生会員入会金	100,000	100,000	0	
3 会費収入				
正会員会費	27,000,000	27,000,000	0	
学生会員会費	1,800,000	1,960,000	△ 160,000	
賛助会員会費	8,000,000	9,600,000	△ 1,600,000	
特殊購読会員年会費	1,320,000	1,500,000	△ 180,000	
4 事業収入				
会誌印刷料	11,260,000	13,560,000	△ 2,300,000	
会誌印税	797,160	797,160	0	
事典印税	2,500,000	0	2,500,000	
全国大会収入	6,467,500	7,421,700	△ 954,200	
全国大会収入(国際WS)	1,530,000	1,025,000	495,000	
セミナーMYCOM参加費	1,451,032	1,224,000	227,032	
会誌など頒布代	300,000	300,000	0	
研究会登録料他	2,378,000	2,885,000	△ 507,000	
AIシンポジウム参加費	1,520,000	4,110,000	△ 2,590,000	
JICST許諾料	180,000	180,000	0	
コンテンツ販売収入	0	1,100,000	△ 1,100,000	
5 補助金収入				
自治体補助金(全国大会)	570,000	0	570,000	
自治体補助金(全国大会・国際WS)	1,800,000	0	1,800,000	
6 雑収入				
会誌広告料	1,001,500	1,001,500	0	
会誌掲載料	360,000	360,000	0	
郵送料他	10,500	10,500	0	
受取利息	2,000	16,000	△ 14,000	
コピーライト	220,000	172,000	48,000	
論文集頒布代	50,000	0	50,000	
7 特定預金取崩収入				
活性化積立金	2,520,243	5,625,243	△ 3,105,000	
普及啓蒙活動積立金	1,256,250	0	1,256,250	
記念事業引当金	800,000	0	800,000	
国際活動積立金	1,000,000	0	1,000,000	
当期収入合計(A)	76,401,732	80,169,103	△ 3,767,371	
前期繰越収支差額	21,220,509	18,266,622	2,953,887	
収入合計(B)	97,622,241	98,435,725	△ 813,484	

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
II 事業費				
1 事業費				
会誌印刷費	12,600,000	12,427,500	172,500	
会誌印刷印刷費	1,080,600	1,220,000	△ 139,400	
スタイル・ファイル作成費	0	500,000	△ 500,000	
会誌執筆謝礼	390,000	390,000	0	
会誌郵送費等発行諸経費	3,401,410	3,575,410	△ 174,000	
事典執筆謝礼・配布	1,600,000	0	1,600,000	
全国大会開催費	6,447,600	7,504,400	△ 1,056,800	
全国大会開催費(国際WS)	2,589,500	942,300	1,647,200	
セミナーMYCOM開催費	1,436,240	1,212,986	223,254	
研究会開催費	2,581,000	2,986,100	△ 405,100	
AIシンポジウム開催費	1,338,000	2,950,500	△ 1,612,500	
広報活動費	300,000	1,005,000	△ 705,000	
表彰費	150,000	250,000	△ 100,000	
コンテンツ作成費	0	1,700,000	△ 1,700,000	
活性化活動費	2,520,243	5,625,243	△ 3,105,000	
普及啓蒙活動費	1,256,250	0	1,256,250	
記念事業費	800,000	0	800,000	
国際活動費	1,000,000	0	1,000,000	
2 管理費				
家賃	2,213,568	2,213,568	0	
共益費	368,928	369,000	△ 72	
光熱費	230,000	230,000	0	
リース料・保守・修理費	784,663	1,084,302	△ 299,639	
什器備品費	100,000	100,000	0	
会議費	520,000	400,000	120,000	
旅費交通費	120,000	120,000	0	
通信・郵送費	2,011,580	2,395,000	△ 383,420	
印刷費	606,000	550,000	56,000	
消耗品費	568,000	650,000	△ 82,000	
給料・手当	20,200,000	20,200,000	0	
臨時雇費用	1,730,000	1,800,000	△ 70,000	
法定福利費	2,700,000	2,700,000	0	
資料購入費	150,000	140,000	10,000	
研修費	100,000	100,000	0	
諸会費	165,400	167,500	△ 2,100	
保険料	10,000	0	10,000	
OA維持費	350,000	350,000	0	
福利厚生費	45,000	45,000	0	
会費引落経費	320,000	320,000	0	
支払い手数料	97,000	80,000	17,000	
雑費	90,000	109,000	△ 19,000	
外為手数料	10,000	0	10,000	
公認会計士費用	157,500	157,500	0	
3 その他の支出				
会費等未納除却損	2,000,000	2,000,000	0	
4 特定預金支出				
国際会議積立金	0	0	0	
退職金引当金	819,220	1,210,058	△ 390,838	
会費未納除却引当金	0	0	0	
事務所整備積立金	0	0	0	
記念事業準備金	0	0	0	
名簿発行準備金	0	0	0	
活性化積立金	0	0	0	
国際活動積立金	0	0	0	
普及啓蒙活動積立金	0	0	0	
当期支出合計(C)	75,957,702	79,780,367	△ 3,822,665	
当期収支差額(A)-(C)	444,030	388,736	55,294	
次期繰越収支差額(B)-(C)	21,664,539	18,655,358	3,009,181	

計算書類に関する注記

1. 重要な会計方針

- 引当金の計上基準について  
退職給付引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期貯金	35,000,000	-	-	35,000,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	26,863,550	27,611,548
未収金	4,035,235	5,937,021
前払金	226,539	450,380
合計	31,125,324	33,998,949
前受金	11,571,700	11,153,000
未払金	865,379	1,134,575
預り金	210,523	213,065
仮受金	211,100	277,800
合計	12,858,702	12,778,440
次期繰越収支差額	18,266,622	21,220,509

入居保証金 4,344,000円、電話架設料 220,584円、担保金777,000円、合計5,341,584円が前期以前において収支差額に計上されていた為、訂正した。

4. 資産及び負債の科目別増加額及び減少額

科目	金額
1 増加の部	
(1) 資産増加額	
現金・預金	747,998
未収金	1,901,786
前払金	223,841
(2) 負債減少額	
前受金	418,700
固定負債	955,461
増加額合計	4,247,786
2 減少の部	
(1) 資産減少額	
特定資産	955,461
(2) 負債増加額	
未払金	269,196
その他流動資産	69,242
減少額合計	1,293,899
当期正味財産増加額	2,953,887

## 2004年度役員構成(全員非常勤)

会長	石塚 満	東京大学大学院 情報理工学系研究科 電子情報学専攻
副会長	前田 章	(株)日立製作所中央研究所 情報システム研究センタ
	溝口理一郎	大阪大学 産業科学研究所 知識システム研究分野
理事	相場 亮	芝浦工業大学 システム工学部 電子情報システム学科
	阿久津達也	京都大学 化学研究所 バイオインフォマティクスセンター
	天野 明雄	(株)日立製作所 中央研究所 ユビキタスメディアシステム研究部
	磯崎 秀樹	日本電信電話(株) コミュニケーション科学基礎研究所
	内平 直志	(株)東芝研究開発センター システム技術ラボラトリ
	浦本 直彦	日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所
	奥乃 博	京都大学大学院 情報学専攻 知能情報学専攻
	栗田多喜夫	産業技術総合研究所 脳神経情報研究部門
	武田 英明	国立情報学研究所
	田中伸一郎	トヨタ自動車株式会社 F P部
	東条 敏	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
	中島 克人	東京電機大学工学部 情報メディア学科
	長尾 茂美	(株)富士通研究所 ITメディア研究所
	沼尾 正行	大阪大学産業科学研究所 知能アーキテクチャ部門
	堀 浩一	東京大学 先端学際工学専攻 知能工学講座
	山口 高平	慶應義塾大学 理工学部 管理工学科
	山之内 徹	日本電気(株) インターネットシステム研究所
監事	毛利 友治	(株)富士通研究所 特許推進部
	林 英也	沖コンサルティングソリューションズ(株)

## 2004年度評議員構成

赤埴 淳一	日本電信電話(株)	河原 達也	京都大学	沼尾 雅之	日本アイ・ピー・エム(株)
浅田 稔	大阪大学	黄瀬 浩一	大阪府立大学	萩田 紀博	(株)国際電気通信基礎技術研究所
麻生 英樹	産業技術総合研究所	北上 始	広島市立大学	橋田 浩一	産業技術総合研究所
有田 隆也	名古屋大学	北村 泰彦	関西学院大学	長谷川隆三	九州大学
有村 博紀	北海道大学	清野 正樹	松下電器産業(株)	服部 文夫	立命館大学
池田 満	北陸先端科学技術大学院大学	國藤 進	北陸先端科学技術大学院大学	馬場口 登	大阪大学
井佐原 均	情報通信研究機構	桑原 和宏	(株)国際電気通信基礎技術研究所	原 潔	日本ユニシス(株)
石川 泰	三菱電機(株)	小長谷明彦	理化学研究所	原口 誠	北海道大学
石田 亨	京都大学	櫻井 彰人	慶應義塾大学	坂内 広蔵	(財)電力中央研究所
市山 俊治	日本電気(株)	佐藤 健	国立情報学研究所	平井 和雄	(株)ホンダエレス
伊藤 英則	名古屋工業大学	佐藤 泰介	東京工業大学	福島 俊一	日本電気(株)
伊藤 史朗	キヤノン(株)	佐藤 雅彦	京都大学	古川 康一	慶應義塾大学
伊東 幸宏	静岡大学	白井 康之	(株)三菱総合研究所	牧 秀行	(株)日立製作所
井上 克己	国立情報学研究所	白鳥 則郎	東北大学	松本 裕治	奈良先端科学技術大学院大学
伊庭 斉志	東京大学	管村 昇	日本電信電話(株)	丸山 文宏	(株)富士通研究所
岩橋 直人	(株)ソニー	杉村 利明	(株)NTTドコモ	宮崎 収兄	千葉工業大学
上田 和紀	早稲田大学	鈴木 宏昭	青山学院大学	宮野 悟	東京大学
江島 俊朗	九州工業大学	住田 一男	(株)東芝	三輪 和久	名古屋大学大学院
遠藤 勉	九州工業大学	園田 隆志	富士ゼロックス(株)	森 辰則	横浜国立大学
大内 東	北海道大学	竹林 洋一	静岡大学	安信千津子	(株)日立製作所
大貝 晴俊	早稲田大学	棚橋 純一	中京大学	矢田 勝俊	関西大学商学部
大沢 英一	はこだて未来大学	辻井 潤一	東京大学	山本 秀樹	沖電気工業(株)
大和田 勇人	東京理科大学	辻野 克彦	三菱電機(株)	横矢 直和	奈良先端科学技術大学院大学
岡 夏樹	京都工芸繊維大学	土屋 俊	千葉大学	吉岡 健	富士ゼロックス(株)
小川 均	立命館大学	寺野 隆雄	筑波大学	吉田 裕之	富士通(株)
荻野 紫穂	日本アイ・ピー・エム(株)	富田 悦次	電気通信大学	鷲尾 隆	大阪大学
奥村 学	東京工業大学	中島 秀之	はこだて未来大学		
鬼澤 武久	筑波大学	中野 良平	名古屋工業大学		
片桐 恭弘	(株)国際電気通信基礎技術研究所	中山 康子	(株)東芝		
加藤 恒昭	東京大学	新田 克己	東京工業大学		
		新田 恒雄	豊橋技術科学大学		

(五十音順,敬称略)